

首都大学東京平成21年度FDセミナー

シラバスとは何か

—名大から名城大へ持ち越した課題—

池田輝政
名城大学

2009年10月1日

首都大学東京平成21年度FDセミナー

話のポイント

1. 大学教育のパラダイムシフトを知るにはどうするのか？
2. FDの課題を受けとめる思考法のスイッチはどうすれば入るのか？
3. シラバスとどう向き合うか

首都大学東京平成21年度FDセミナー：自己紹介

出発点 1996 - 情報メディア利用の教員研修事業企画
遠隔高等教育の実践との出会い
(英国オープンユニバーシティ)

2000 - FD研究・開発の本格開始



ティーチング・ティップスの普及戦略
(『成長するティップス先生』の刊行)

2005 - FD研究・開発の輪を広げる



教育研究開発のコミュニティ文化戦略
(『名城大学教育年報』の刊行)

現在

首都大学東京平成21年度FDセミナー 1. 大学教育のパラダイムシフトを知る

そのための手法、

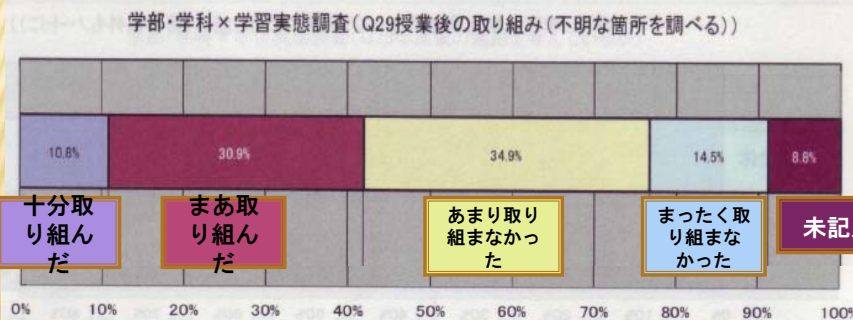
- (1) 学生のこれまでの学びを議論する
— 耐えて忍ぶ勉学実態の調査
- (2) 国の答申の動向を読んで議論する
— 2008年12月中教審答申
『学士課程教育の構築に向けて』
から見える自分たちにとっての近未来像は何か
- (3) 海外の大学をベンチマーキングして議論する
— たとえば、Warwick University (ウォーリック大学)
のHPを調べて分析し、先端の動きに触れる

参考：津田純子 (2007) 「ドイツ大学教授法の展開と教育・学習のパラダイム転換」高等教育研究叢書 (広島大学) 91号、65-79頁。

首都大学東京平成21年度FDセミナー 1. 大学教育のパラダイム変革を知る (1)

本学のA学部本年度新入生学修実態調査例

Q14 高校時代に不明な箇所を調べることにどの程度取り組みましたか



首都大学東京平成21年度FDセミナー 1. 大学教育のパラダイム変革を知る (2)

「学士課程答申」(2008年12月)のFD指摘事項の例

(エ) 大学全入時代を迎え、学習意欲の低下や目的意識の希薄化といった学生の変化に直面し、個々の教員の力量向上のみならず教員団による組織的な取組の強化が求められるようになってきている。学長の多くは、教員の組織的な職能開発の必要性を認めており、その点で海外との温度差はない(図表3-6)。

必要なのは、制度化されたFDをいかに実質化するかであり、あわせて、そのための条件整備を国として進めていくことである。FDを単なる授業改善のための研修と狭く解するのではなく、我が国の学士課程教育の改革を目的とした、教員団の職能開発として幅広く捉えることが適当である。

そして何より、FDを実質化するには、教員の自主的・自律的な取組が不可欠である。教員の個人的・集団的な日常的教育改善の努力を促進・支援し、多様なアプローチを組織的に進めていく必要がある。

曹府大学東京平成21年度FDセミナー 1. 大学教育のパラダイム変革を知る (3)

Philosophy at Warwick aims to develop clear, rigorous and creative thinking about contemporary philosophical issues. You will receive training in logical argument and develop critical and analytical skills that will prepare you for a wide variety of careers. All courses start with core modules that provide training in Philosophy's traditions and basic themes; later, you can choose from a large range of option modules which are continually revised to embody the Department's latest research.

ウォーリック大学の「哲学」は現代の主要課題について哲学的思考法をトレーニングする。哲学的思考法、すなわち論理構成力、批判力と分析力を身につけることは社会の様々な場面で必要とされる。履修は哲学の伝統的な基本課題についてトレーニングするコア科目群から始まる。その後、本学哲学科の最新の研究成果を常に反映して改訂される選択科目群で学びを深める。

- [Prospectus Entry](#) [志願者用総合ガイド](#)
- [Degrees](#) [履修科目と学位取得との関係](#)
- [The Philosophy department at Warwick](#) [本学哲学科の特徴](#)
- [Studying Philosophy at Warwick](#) [本大学での哲学の勉学について](#)
- [Careers](#) [社会での関連性](#)
- [Typical Offers and Essential Subjects](#) [入学試験等に求める要件](#)

曹府大学東京平成21年度FDセミナー 1. 大学教育のパラダイム変革を知 (3)

Studying Philosophy at Warwick

ウォーリック大学での哲学の勉学

Considerable emphasis is placed on the study of the work of philosophers such as Plato, Descartes, Mill, Hume and Kant, in order to form a context in which to understand philosophical issues, although the attitude to them is of critical interrogation rather than awed reverence.

哲学の主要課題を理解する文脈を形成するために、プラトン、デカルト、ミル、ヒューム、カントの哲学的著作を主要教材とする。教材は批判的に検討する。

Philosophy combines well with many other subjects and provides an opportunity for genuinely integrated joint Degrees. Philosophical questions often arise from work in other science and arts subjects, bringing to light problems of which the practitioners are insufficiently aware.

哲学の勉学は他の多くの専門分野と組合わせて、共同学位に結びつけることができる。哲学的な問いは、サイエンスや芸術の分野からもたらされることも多く、実践家があまり認識しない問題を啓発する。

首都大学東京平成21年度FDセミナー 1. 大学教育のパラダイム変革を知(3)

Skills 哲学的スキルとは

1. 分析力

①議論を批判的に分析できる、②複雑な論述を論理的に構造化できる、③理論や議論や主張に関連するポイントが抽出できる)、

2. 総合力と構想力

(異なる学問分野の議論と理論の間に関連をつけることができる、新たな議論の展開について論理的判断をすることができる)、

3. コミュニケーション力

①複雑な理論やアイデアを文章や口頭でやさしく表現できる、②明確で説得力のある議論で争点のアイデアや理論を説明できる

哲学の既存の知識は求めている。学校で哲学を習ったのであれば、ある程度役立つことはあるが、ウォーリック大学ではそれまでの習った哲学とは違った勉学を行うので、学生は気持ちを一新して履修に臨むことが求められる。

首都大学東京平成21年度FDセミナー 2. FDの課題を受けとめる思考法のスイッチ

心理的スイッチを入れる手法は

(1) シラバスの実質化を組織プロジェクトにする

広く他大学の扉をたたきシラバスとは何かをStudyする



同僚のシラバス・デザインの好例を抽出し学ぶ



学生を参画させてデザインの実証実験によって学ぶ



more about projects

(2) 学力上位層or 下位層のパフォーマンスを上げるシラバス・デザインにチャレンジする

- シラバスには教師の教育観・学習観の現状が反映される



知識を伝え評価するためのシラバス作成



シラバスというメディアを通して学生の近未来を表現する

- これからのFDの基本として問い続けたい3つのキーワード

- (1) Studying プロセスの学びの大切さを学生に伝える
- (2) Being Together 教師と学生が共にスタディする場
- (3) Running the Community スタディ・コミュニティたる大学

ご清聴に感謝します

- × Course Aims コースの全体目標
- × Course aims reflect the overall aims of each taught course of study; the wider objectives of the course, its academic scope and distinctive features.
- × それぞれの学修コースで教えられる目標を包括したもの。あるいは当該コース全般にわたる目標、またはその学術的な範囲や目立った特質を述べたもの。
- × 情報源：ウォーリック大学のウェブサイト上から引用
- × [http://www2.warwick.ac.uk/services/quality/coursespecs/view/glossary/\(20090817\)](http://www2.warwick.ac.uk/services/quality/coursespecs/view/glossary/(20090817))

Course Specification コース設計書

- ✦ A description of the intended outcomes of learning from a higher education course of study (learning outcomes), how these outcomes are achieved (taught and learned) and demonstrated (assessed). A course specification should improve student understanding of how learning occurs on a particular course, what is being taught, and inform reflection upon personal learning, performance and achievement.
- ✦ 学位課程のなかの一つの学修コースが意図する学習成果（ラーニング・アウトカム）と、その成果を挙げるための教え方と学び方そして検証のし方（評価法）を記述した内容。コース設計書は、ある特定のコースで学習がどのように進められていくのか、何が教えられようとしているのかを学生に理解させ、そして個別の学習やパフォーマンス（成果発表）やアチーブメント（最終評価）に関する方針を伝えるものである。

- ✦ **Learning outcomes ラーニング・アウトカム**
- ✦ The skills and knowledge a student will possess upon successful completion of a course. Learning outcomes as set out in Warwick course specifications are divided into four categories:
 - ✦ **1. Subject knowledge and understanding;**
 - ✦ **2. Subject-specific skills** are practical skills, practice of which is integral to the course, e.g. laboratory skills, language skills, counselling skills;
 - ✦ **3. Cognitive skills**, intellectual skills such as an understanding of methodologies, synthesis, evaluation or ability in critical analysis;
 - ✦ **4. Key skills** are skills that are readily transferable to employment in other contexts, such as written and oral communication, working within a team, problem solving, numeracy and IT skills.
- ✦ **期待された学修時間を満たしたときに身につく知識・スキルのことで、ウォーリック大学は以下の4領域に分類**
- ✦ **1. コースで理解すべき主要知識**
- ✦ **2. コース独自の実践的スキル**
- ✦ **3. 方法論の理解、総合力、評価・批判的分析力などの認知的スキル**
- ✦ **4. 文字や口頭でのコミュニケーション力、チーム協働力、問題解決力、数理力、コンピュータリテラシーなどの他の仕事でも通用する基本スキル**

× **Formative Assessment 形成的評価**

- × Coursework which does not contribute to final degree classification, but is undertaken for developmental purposes. Formative assignments, essays or presentations may be required of students in order for staff to provide them with feedback prior to students undertaking a piece of assessed work which counts towards the student's degree classification.
- × **指定課題、レポートや発表などコースの途中で学修診断を行うための評価法)**

Summative Assessment 総括的評価

- × Assessed work which contributes to the final outcome of a student's degree, such as unseen examinations, essays, dissertations or presentations.
- × **試験、エッセイ、論述や口頭試問など最終の学修成果を判定する評価法**